

あとがき

伊勢神宮は式年遷宮といって、20年に一度神殿を建て替える。せっかく建てたものを20年程度で建て替えるのは一見無駄のように思えるが、実は建て替えることにより本造建築の技術や精神を後世に確実に伝えることを意図しているという。この20年という期間は実に微妙であり、この間隔が文化の継承に最も良いということらしい。しかし、石造りのような長年もつ建造物を建ててしまうと、文化は伝えられなくなってしまうのである。

これはデジタル技術隆盛の今、実に象徴的な話である。何度コピーしても、元の信号が劣化しないデジタル技術は、出た当初実に素晴らしい発明と捉えられ、私もその恩恵を喜んだものであった。実際、今やデジタル技術を抜きにしては、論文を書いたり講演の準備をすることなどできない状況である。しかし、コピーするたびに確実に劣化するアナログ技術だったからこそ防がれていた不法コピーに対する防護策を講じなければならないなど、多くの弊害も出てきている。それ以上に深刻なのは、デジタル技術は先人たちの作り上げた技術や精神の伝承を阻んでしまうという点なのである。江戸絵画の琳派に代表されるように、昔の人は先人の描いたものを模写することにより、先人の技術だけでなく精神も学んできた。尾形光琳に100年遅れて現れた酒井抱一は、光琳の絵を真似ることにより、彼の技術、精神を学び、それは後に琳派と呼ばれることとなった。こうやって文化は直接人と人とが触れ合わなくても、残された作品からだけでも伝えられていく。法隆寺の昭和の大改修にあたった西岡棟梁は、修理をすることで千年以上も前の職人の考え、技術を学ぶとともに、それに対し後世の人がどのように修復してきたかも学んだのである。簡単に他人の成し遂げた成果をコピーできてしまうデジタル技術は、人々が長年かかって学んできたやり方を根底から変えてしまうかもしれない。

何千年もの間、人類が続けてきたやり方を、ここ10年ほどの間に変えてしまっても良いのだろうか。いくら無駄が多くとも、先人から学ぶためには安易な近道をしてはならない。かのJ.S. バッハは門外不出の貴重な譜面を半年かけて月夜の明かりの下で写譜したことで、多くの作曲技法を学んだという。

(塩原 哲夫)

〔編集委員〕

瀧川 雅浩
伊藤 雅章
塩原 哲夫
渡辺 晋一
中川 秀己
石河 晃

学会・研究会のお知らせ掲載

皮膚科関連学会・研究会のお知らせを無料で掲載いたします。開催期日(演題募集がある場合は締切日)の3か月前までに本誌編集室までお寄せください。

臨床皮膚科 (第65巻 第1号)

2011年1月1日発行(毎月1回1日発行)

定価 2,835 円(本体 2,700 円+税 5%)

(2011 年年間購読料
冊子のみ 39,930 円 冊子+電子版 52,000 円
電子版/個人 39,930 円 電子版/共有 45,920 円
増刊号を含む 13 冊・税込・送料小社負担)

(担当:小松原・安部)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5715

販売部直通(03)3817-5659・5660

ファクシミリ(03)3815-7802

E-mail: rinshifu@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693

印刷所 三美印刷(株) 電話(03)3803-3131

広告申込所 (有)文京メディカル 電話(03)3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2011, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- 〔JCOPY〕(社)出版者著作権管理機構 委託出版物
本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床皮膚科」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinshifu/>